

施策・基本事業評価シート

〔施策〕 防災対策の推進

※シートの内容は一次評価時点のものであり、今後、修正になる場合があります。

(注) 施策・基本事業評価シートの表題が「平成 28 年度 施策（基本事業）評価シート（平成 27 年度実績評価）」となっていますが、「平成 29 年度 施策（基本事業）評価シート（平成 28 年度実績評価）」の誤りであり、今後修正します。

平成28年度 施策評価シート（平成27年度実績評価）

政策 01 安全・安心に暮らせるまち
施策 03 防災対策の推進
主管課： 交通防災課
関係課： 財政課、社会福祉課、介護福祉課、都市計画課、建設課

1 施策の目的

対象（誰、何を対象としているか） 市民	意図（どのような状態にしたいのか） 防災への取組によって、市民が安心して生活できるまちをつくる。
------------------------	---

2 施策の成果状況（意図の達成度を図る成果指標とその動向）

災害面で安全に暮らせると思う市民の割合					
(%) 交通防災課					
基準値（H26）	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	目標値（H33）
80.50	78.20	76.20	78.00	80.00	82.00
向上指針	上がると良い	(状況) 基準値に比べ4.3ポイント、前年度2.0ポイント減少していますが、ほぼ横ばいと考えます。 (原因) アンケートでは、7割以上の市民が安全に暮らせる地域だと考えており、発災対応型防災訓練を継続して実施してきた結果、防災対策への取り組みが浸透してきたものと考えます。「そう思わない」等の割合も22.2%ありますので引き続き防災対策の充実に取り組みます。			
対前年度 < -2.5% 停滞 >	停滞				
目標達成度	中				
次年度課題	課題としない				

基準値（H26）	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	目標値（H33）
0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
向上指針					
対前年度 < >					
目標達成度					
次年度課題					

基準値（H26）	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	目標値（H33）
0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
向上指針					
対前年度 < >					
目標達成度					
次年度課題					

3 施策に係るコスト（単位：千円）

	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
	決 算	決 算	決 算	予 算	見 込
事業費合計	58,123	66,114	66,252	62,943	60,731
人件費	0	0	13,852	0	0
トータルコスト	58,123	66,114	80,104	62,943	60,731

4 基本事業の状況

基本事業名称	成果指標の動向					事業費				
						H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
01 市民の防災意識の向上	停滞	停滞	向上			4,972	1,805	939	2,885	2,885
02 災害時における行政による支援体制の強化	向上	向上				13,452	24,377	34,568	16,907	14,695
03 避難行動要支援者の避難支援	停滞	停滞	停滞			486	536	769	578	578
99 施策の総合推進						39,213	39,396	29,976	42,573	42,573

5 施策全体の取組状況と課題

当該年度の全庁決定の方向性（前年度の全庁政策会議での決定事項）

市民の防災意識や自主防災組織結成率の更なる向上を図るとともに、災害時の新たな情報伝達手段の実現に取り組みます。 防災備蓄品の計画的な更新を行い、食糧備蓄率の向上とアレルギー対応食の導入を図ります。 また、避難行動要支援者の避難支援への取組として、避難行動要支援者登録制度の周知を図り、地域における支援体制の整備に努めます。	成果方向性	向上
	コスト方向性	増加

前年度の取組内容、成果及び次年度以降に向けた課題

市民の防災対策への意識の高揚を図るため、防災講演会を開催するとともに、発災対応型防災訓練を実施し減災対策に取り組みました。また、自主防災組織の新規結成と組織の活性化のための説明・相談を随時行い支援体制の強化に努めました。また、備蓄食料品におかゆやビスケット、アレルギー対応粉ミルクを準備し備蓄食料品の多様化を図りました。	推進状況	一部停滞あり
	次年度への課題	課題なし
	成果方向性	向上
	コスト方向性	削減

次年度の方方向性（当該年度の全庁政策会議での決定事項）

	成果方向性	
	コスト方向性	

平成28年度 基本事業評価シート（平成27年度実績評価）

政策 01 安全・安心に暮らせるまち
施策 03 防災対策の推進
基本事業 01 市民の防災意識の向上
主管課： 交通防災課
関係課：

1 基本事業の目的

対象（誰、何を対象としているか） 市民	意図（どのような状態にしたいのか） 市民の防災意識を高め、災害時に適切な対応ができるように努める。
------------------------	--

2 基本事業の成果状況（意図の達成度を図る成果指標とその動向）

防災対策を講じている市民の割合 (%) 交通防災課					
基準値（H26）	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	目標値（H33）
57.30	53.10	52.60	55.00	58.00	60.00
向上指針	上がると良い	（状況）基準値からは4.7ポイント、平成27年度からも0.5ポイント減少しています。 （原因）アンケート結果を見ると、ほとんどの方が何らかの対策を講じていますが、指標値は4つ以上の準備をしている方を対象としていることから、成果は横ばい状態です。今後も極端な上昇は見込めないと考えられますが、引き続きHPや広報紙等により啓発活動に努めてまいります。			
対前年度 ＜ -0.8% 停滞＞	停滞				
目標達成度	中				
次年度課題	課題としない				

自主防災組織結成率 (%) 交通防災課					
基準値（H26）	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	目標値（H33）
66.10	66.30	66.10	70.00	72.00	75.00
向上指針	上がると良い	（状況）基準値とは同じ指標値、平成27年度からは0.2ポイント減少となり、成果は横ばい状態です。 （原因）結成に向けて6団体が準備していましたが、いずれも自治会の役員会等の日程の調整がつかず結成に至りませんでした。次年度以降は順次結成されることから成果は向上すると考えています。			
対前年度 ＜ -0.2% 停滞＞	停滞				
目標達成度	中				
次年度課題	課題としない				

防災訓練参加率 (%) 交通防災課					
基準値（H26）	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	目標値（H33）
8.60	13.90	17.80	20.00	23.00	10.00
向上指針	上がると良い	（状況）基準値に比べて9.2ポイント、平成27年度からも3.9ポイント増加し、目標値を達成しています。 （原因）市の防災訓練の参加団体が増加（特に内容や日程等を地域の実情に合わせた防災訓練を実施した自治会が増えました。）したことによるものです。これは市民の間に、発災対応型防災訓練の必要性が浸透しつつある結果だと考えています。			
対前年度 ＜ +28.1% 向上＞	向上				
目標達成度	達成				
次年度課題	課題としない				

基準値（H26）	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	目標値（H33）
0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
向上指針					
対前年度 ＜ >					
目標達成度					
次年度課題					

基準値（H26）	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	目標値（H33）
0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
向上指針					
対前年度 < >					
目標達成度					
次年度課題					

3 基本事業に係るコスト（単位：千円）

	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
	決 算	決 算	決 算	予 算	見 込
事業費合計	4,972	1,805	939	2,885	2,885
人件費	0	0	3,592	0	0
トータルコスト	4,972	1,805	4,531	2,885	2,885

4 基本事業の推進状況と課題

前年度の取組内容、成果及び次年度以降に向けた課題

「発災対応型防災訓練」については、多くの自治会及び市民の参加により自助・共助の大切さを学び実施することができました。自主防災組織の結成については、発災対応型防災訓練に参加する中で組織の必要性が浸透しつつあることから、今後は結成数も着実な伸びが期待されます。引き続き、防災講演会の実施や防災を考える会の協力を頂き成果の向上に取り組んでまいります。	推進状況	一部停滞あり
	次年度への課題	課題なし
	成果方向性	向上
	コスト方向性	増加

5 基本事業を構成する事務事業の評価

[illegible]

平成28年度 基本事業評価シート（平成27年度実績評価）

政策 01 安全・安心に暮らせるまち
施策 03 防災対策の推進
基本事業 02 災害時における行政による支援体制の強化
主管課： 交通防災課
関係課： 財政課、社会福祉課、都市計画課、建設課

1 基本事業の目的

対象（誰、何を対象としているか） 市民	意図（どのような状態にしたいのか） 支援体制を強化し、災害時の被害が軽減され、避難者が食料や物資等の支援を受けられるよう努める。
------------------------	---

2 基本事業の成果状況（意図の達成度を図る成果指標とその動向）

避難想定人口に対する備蓄食糧（3日分）が確保されている割合（％） 交通防災課					
基準値（H26）	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	目標値（H33）
88.10	92.60	100.00	100.00	100.00	100.00
向上指針	上がると良い	（状況）基準値に比べ11.9ポイント、前年度比でも7.4ポイント増加し、目標値を達成しています。 （原因）平成27年度以降の備蓄食糧の入替え時に、不足している人口増加分を補ったことによるものです。			
対前年度 < +8.0% 向上 >	向上				
目標達成度	高				
次年度課題	課題としない				

災害協定締結団体数（団体） 交通防災課					
基準値（H26）	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	目標値（H33）
19.00	18.00	22.00	25.00	27.00	25.00
向上指針	上がると良い	（状況）基準値に比べて3団体、前年度比でも4団体増加しています。 （原因）熊本地震の教訓から、被災者に対する法律相談の必要性や関係機関から支援を受けるための提出書類の作成等について、少しでも不安を払拭し利便性の向上を図るため、弁護士会や行政書士会等の団体と積極的に協定締結を働きかけた結果と考えています。			
対前年度 < +22.2% 向上 >	向上				
目標達成度	高				
次年度課題	課題としない				

基準値（H26）	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	目標値（H33）
0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
向上指針					
対前年度 < >					
目標達成度					
次年度課題					

基準値（H26）	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	目標値（H33）
0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
向上指針					
対前年度 < >					
目標達成度					
次年度課題					

基準値 (H26)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	目標値 (H33)
0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
向上指針					
対前年度 < >					
目標達成度					
次年度課題					

3 基本事業に係るコスト（単位：千円）

	H26年度 決 算	H27年度 決 算	H28年度 決 算	H29年度 予 算	H30年度 見 込
事業費合計	13,452	24,377	34,568	16,907	14,695
人件費	0	0	7,602	0	0
トータルコスト	13,452	24,377	42,170	16,907	14,695

4 基本事業の推進状況と課題

前年度の取組内容、成果及び次年度以降に向けた課題

備蓄食糧品の多様化を図るため、高齢者及び乳児用のおかゆと水や火を使わずに食べられるビスケットを備えるとともに、不足していた人口増加分を補いました。また、粉ミルクの一部にはアレルギー対応食品を取り入れました。また、現在は備蓄食糧の確保日数が7日に推奨されていることから予算措置（保管場所等）を含めた検討が必要と考えます。	推進状況	順調
	次年度への課題	課題なし
	成果方向性	向上
	コスト方向性	削減

5 基本事業を構成する事務事業の評価

[illegible]

平成28年度 基本事業評価シート（平成27年度実績評価）

政策 01 安全・安心に暮らせるまち
施策 03 防災対策の推進
基本事業 03 避難行動要支援者の避難支援
主管課： 社会福祉課
関係課： 介護福祉課、市民協働推進課

1 基本事業の目的

対象（誰、何を対象としているか） 災害避難時に支援を必要とする市民	意図（どのような状態にしたいのか） 避難行動要支援者が安全に避難し、適切な避難生活が送れるよう努める。
--------------------------------------	--

2 基本事業の成果状況（意図の達成度を図る成果指標とその動向）

消防署、自治会等に知らされている避難行動要支援者の割合						(%)	社会福祉課
基準値 (H26)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	目標値 (H33)		
50.10	61.00	62.30	63.30	63.50	65.00		
向上指針	上がると良い	(状況) 前年度と比較して数値が1.3ポイント向上しました。 (原因) 防災意識の高まりにより、災害時の支援体制づくりに協力を得られる自治会・防災組織が増加し、災害時の要支援者情報を提供している協力自治会数は前年より2団体増加（72団体）しています。平成26年度から地域福祉活動助成金制度を導入したことにより、各地区において防災関係への取組や意識向上がみられます。					
対前年度 < +2.1% 停滞 >	停滞						
目標達成度	高						
次年度課題	課題としない						

福祉避難所として協定を結んでいる施設数						(箇所)	介護福祉課
基準値 (H26)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	目標値 (H33)		
3.00	7.00	7.00	7.00	7.00	8.00		
向上指針	上がると良い	(状況) 前年度と同様7件で横ばいです。 (原因) ○平成25年に3施設と締結しました。 ・特別養護老人ホーム2箇所（峰林荘と七福神）・障がい者支援施設1箇所（さくら荘） ○平成27年度に4施設と締結しました。平成28年度新設はなし。 ・介護老人健康施設アイケア ・特別養護老人ホームやまゆりの郷, ・介護付有料老人ホームサンシャインヴィラ守谷 ・グループホームアンダンテ					
対前年度 < 0.0% 停滞 >	停滞						
目標達成度	高						
次年度課題	課題としない						

災害時に、近所に助けが必要な方がいることを知っている市民の割合						(%)	社会福祉課
基準値 (H26)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	目標値 (H33)		
15.70	17.00	17.90	19.00	20.50	25.00		
向上指針	上がると良い	(状況) 前年と比較して、数値が0.9ポイント向上しました。 (原因) 災害時における地域の支え合い・助け合いが重要になっており、地域福祉計画と地域福祉活動計画の実現に向けて地域の絆づくりの取組が行われています。今後、地域福祉活動や避難行動要支援者制度を自治会の協力により一体的に推進することで、数値が上昇するよう取り組むものです。					
対前年度 < +5.3% 停滞 >	停滞						
目標達成度	中						
次年度課題	課題とする						

基準値 (H26)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	目標値 (H33)	
0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
向上指針						
対前年度 < >						
目標達成度						
次年度課題						

基準値（H26）	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	目標値（H33）
0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
向上指針					
対前年度 ＜ ＞					
目標達成度					
次年度課題					

3 基本事業に係るコスト（単位：千円）

	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
	決 算	決 算	決 算	予 算	見 込
事業費合計	486	536	769	578	578
人件費	0	0	1,415	0	0
トータルコスト	486	536	2,184	578	578

4 基本事業の推進状況と課題

前年度の取組内容、成果及び次年度以降に向けた課題

避難行動要支援者への避難支援の実効性を高めるために、現行の避難行動要支援者制度の改変を進めています。今後は早期に新たな制度の構築を行い、地域の支援体制の整備を図ります。	推進状況	順調
	次年度への課題	課題あり
	成果方向性	向上
	コスト方向性	増加

5 基本事業を構成する事務事業の評価

[illegible]